

令和8年度成長志向企業の経営力向上支援業務受託候補者選定審査会 評価基準

評価項目	評価の視点・基準	配点
1. 業務の理解度・課題認識		
現状分析と課題把握 事業目的の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書や過年度の取り組み状況およびアンケート調査の結果から、現状・課題の構造を整理できているか。 ・本事業の目的を踏まえ、現状・課題を打破するための的確な洞察と、本市特有の課題に対する具体的な解決策が示されているか。 	15
2. 実施体制と地域連携		
実施体制と地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・乙の統括体制(責任者、事務局機能、進捗管理、関係者調整)が、契約期間内に確実に遂行できる体制となっているか。 ・市内支援機関(商工団体、金融機関、教育機関、公的機関等)の役割分担および補完関係を踏まえた連携が具体化されているか。 ・市内外のネットワーク(大学、金融機関等)を活用し、重層的な支援体制を構築できる提案となっているか。 	15
3. 業務の実施方法		
プラットフォーム構築	<ul style="list-style-type: none"> ・「下関の人事部」機能構築に必要な、多様な関係機関を巻き込むための具体的な仕掛けが提案されているか。 ・単なる会議運営ではなく、「ビジョンの骨格策定」から「行動指針の策定」までを導き出すための具体的な手法(ワークショップ形式、論点設計、合意形成手順、成果物イメージ等)が提案されているか。 ・WGにおいて、アンケート結果の整理・深掘り、トスアップを含む連携体制の可視化、支援メニュー・役割分担の棚卸し等を通じ、実効性のある連携フロー構築に繋がる提案となっているか。 ・支援機関の巻き込みや取組意欲向上に向けた具体策(各機関メリット設計、支援メニューの相互広報、合同研修等)が示されているか。 	20
中小企業への啓蒙・啓発 (副業人材活用及びリスク リング促進)	<ul style="list-style-type: none"> ・人的資本経営の必要性について、経営者の意識変革・行動変容につながる創意工夫が見られるか。 ・ニーズの掘り起こしから、教育機関や国・県等の支援施策、専門支援機関等への繋ぎ込みを行うための仕組みが示されているか。 ・副業人材マッチング(5社程度)について、ミスマッチ抑制の工夫(要件整理、期待値調整、伴走の方法等)が示されているか。 ・事例集について、事業の成果が支援機関および中小企業等に共有され、横展開に資する構成・内容となる提案があるか。 	15
下関の人事部をハブとした 事業承継支援対応モデル の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・支援機関や民間のマッチングサイト等との連携について、候補先、連携の考え方、連携手順等を含む提案があるか ・県が実施する「事業承継強化月間」等に合わせた、事業承継の重要性を啓発する広報等の普及促進活動が提案されているか。 ・広報にあたって、市が実施する「事業承継個別相談会」や「潜在課題企業へのプッシュ型訪問支援」への相談促進を主目的に置き、市の動きと一貫した連動した導線設計(認知→関心→相談申込等)が示されているか。 	15
4. 独自提案および事業の継続性・自立化		
独自提案および事業の 継続性・自立化	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度向上・連携強化・民間活用・人的資本経営の浸透等について、委託料の範囲内で実行可能な具体的な提案があるか。 ・将来の自走化に向けた、具体的かつ現実的な運営モデルやマネタイズ(受益者負担、民間リソース活用等)の提案があるか。 	15
5. 費用対効果		
費用対効果	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果が優れているか。 ・必要となる経費・費目を過不足無く考慮し、適正な積算が行われているか。 	5
合計		100